

新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

令和2年7月8日（令和3年5月30日更新）

子ども会指導者クラブ「フレンズ」

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、次の対策を行ってまいります。

1 基本的な考え方

「フレンズ」のリーダー活動は、自ら気づき、お互いに気をつけることを大事にしています。このため、例年のキャンプ事前説明会でを行う「危険予知トレーニング(KYT)」や、クリスマス会などの活動と同じで、「みんなが自分で気づき、おたがいに気をつけ、実際にやってみる」ことが大事だと考えています。

○活動の最初のプログラムで、いわゆる「3密」を避けるための活動について学ぶことから始めます。

○国立赤城青少年交流の家による「国立赤城青少年交流の家における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を土台に、公益社団法人日本キャンプ協会の「キャンプ運営ガイドライン」を踏まえ、対応してまいります。

※それぞれ、ホームページにおいて公開されています。

○例年以上に、余裕あるプログラムを心掛けて実施します。

2 具体的な対応

キャンプ共通	○屋内では収容率50%以内、屋外では十分な間隔をとるようにします。 ○密集防止やソーシャルディスタンスについて各自が気を付け、声を掛け合います。 ○当日、発熱がある場合は参加できません。定期的に体温計測を行います。 ○マスク着用とし、場面ごとに消毒と手洗いを行います。 ○特に屋内において、窓を開け、換気を行います。
バス移動	乗車時に手指の消毒を行います。マスク着用とします。 バス会社（ジャパントローズ）の対応として、「乗務員の体温計測・マスク着用・手指消毒」、車内アルコール消毒がなされます。 乗車する「日野セレガ」は車内空調による換気が徹底されます。 ※バスに乗車せず、会場に直接送迎も可能とします。申込時に明記してください。
活動場所(屋内)	間隔と窓をあけて行います。
食事	交流の家の対策で、向かい合わせになる机には、飛沫防止用の仕切りが設置されています。 配膳はビニール手袋をして行います。また、間隔をあけて食べます。
風呂	時間をとり、子ども同士の間隔をあけて入ることとします。
寝る時間	交流の家の「寝具の感染症対策のお願い」により、就寝時の飛沫飛散防止のため、敷布団・掛け布団・枕にビニール袋をかぶせる対策をとります。 間隔をあけソーシャルディスタンスを確保します。また、換気を行います。 ※対策が困難なテント泊は、実施しません。
野外炊飯	水分補給をこまめに行いながら、マスク着用の上行います。 ※対策が困難な「流しそうめん」は、実施しません。
発熱時の対応	まずは、別室で対応します。保護者の方に連絡をとり、熱がひかない場合は、お迎えをお願いする場合があります。
その他	新型コロナウイルス感染症は、日々、状況と求められる対応が変化しています。その時点での対策を踏まえ、行っていきます。

※上記を守れない行動をした場合は、厳しく注意します。目に余る場合などは、途中でお帰りいただく場合もあります。